

# 公衆衛生学

責任者名：田中 秀樹

学期：前期

対象学年：3年

授業形式等：講義

## ◆担当教員

田中 秀樹(衛生学 准教授)

中井 久美子(衛生学 助教)

本橋 正史(衛生学 兼任講師)

皆川 なほ子(衛生学 兼任講師)

## ◆一般目標 (GIO)

広く国民の健康にかかわる公衆衛生と生活環境の基礎的事項を学び、国民の健康づくりの担い手として社会に貢献するという自覚と、将来、地域保健行政の一部に参画できるための基本的な知識を修得する。

## ◆到達目標 (SBOs)

- ・公衆衛生と地域保健の違いを説明できる。
- ・我が国の国民栄養の問題点を説明できる。
- ・国民全体の保健対策について国・都道府県・市町村の果たす役割を列挙できる。
- ・母子保健，学校保健，産業保健，成人・高齢者保健，障害者保健を説明できる。
- ・環境が健康に及ぼす影響を説明できる。

## ◆評価方法

平常試験 (50%)，振り返りシート記入 (10%) およびレポート等の提出物 (40%) で評価する。なお，振り返りシートの記入の詳細は，講義内で説明する。

## ◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
田中 秀樹	火曜日 17:00~18:00 1号館衛生学講座	tanaka.hideki@nihon-u.ac.jp	
中井 久美子	火曜日 17:00~18:00 1号館衛生学講座	nakai.kumiko10@nihon-u.ac.jp	
本橋 正史	質問等は授業終了直後に受ける。		
皆川 なほ子	質問等は授業終了直後に受ける。		

## ◆授業の方法

教科書および要点を記載したプリントまたはスクリーン投影資料をもとに毎回の授業を進め、平常試験で理解度の確認と振り返りを行う。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	口腔衛生学 2020	川戸貴行, 前野正夫, 本橋正史 他	一世出版	2020
PPTデータの配布				
参考書	スタンダード衛生・公衆衛生 第14版	末高武彦 他	学建書院	2015
参考書	生活と健康－測定と評価法－ 第5版	荒川浩久 他	学建書院	2016
参考書	国民衛生の動向 2018/2019年版		厚生統計協会	2019
参考書	口腔保健マニュアル	安井 利一	南山堂	2005
参考書	喫煙病学	井埜 利博	最新医学社	2007

◆DP・CP

DP2:

コンピテンス: 論理的・批判的思考力

コンピテンシー: 多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

CP3:

幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

◆準備学習(予習・復習)

授業前に教科書等を読み、学修到達目標を理解すること。

必ず予習復習をおこなうこと。

◆準備学習時間

各々授業時間の2倍相当を充てて予習と復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

地域保健学 (6年前期)

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
---	-----	----	----	------	--------	----	----------

1		5.12	4	1. 衛生学・公衆衛生学 序論 (教1) p. 22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆衛生と地域保健の違いを理解できる。</li> <li>・疾病構造と健康問題の歴史的変遷を説明できる。</li> <li>・環境と人間の係わり合いによって種々の疾病・異常の発生が影響を受けることを理解し、その予防対策を説明できる。</li> <li>・保健所と市町村保健センターについて説明できる。</li> </ul>	田中 秀樹	B-1 健康の概念 A-7-1)地域医療への貢献
2		5.19	4	2. 人口統計-1 1)人口の動向 2)人口静態統計 (教1) p.414	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界, 国, 地域, 地区レベルでの人口の推移を多角的に理解できる。</li> <li>・人口事象の観察は, 保健・医療・福祉を円滑に推進する上で重要な基礎資料となることを理解できる。</li> </ul>	田中 秀樹	B-1 健康の概念
3		5.26	4	2. 人口統計-2 1)人口静態統計 2)生命表 3)国民の健康状態と受療状況 (教1) p.414	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化社会における保健と福祉の観点から, 人口動態と生命表について説明できる。</li> <li>・国民生活基礎調査および患者調査の結果から日本人の健康状態と受療状況の概要を理解できる。</li> </ul>	田中 秀樹	B-1 健康の概念
4		6.2	4	3. 疾病予防 1)感染予防の概念 2)感染症の予防 (教1) p.429	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の基本的な対策について説明できる。</li> <li>・現在わが国で流行が懸念されている感染症の特徴を理解できる。</li> <li>・わが国における感染症対策を, 歴史的経過も踏まえ説明できる。</li> </ul>	田中 秀樹	B-1 健康の概念
5		6.9	4	4. 食と健康 1)食生活の現状と対策 2)食品保健 3)食中毒 (教1) p.440	<ul style="list-style-type: none"> <li>わが国の国民栄養の現状を説明できる。</li> <li>・わが国における生活習慣病とメタボリックシンドロームの最近の動向を説明できる。</li> <li>・日本人の食事摂取基準(2015)の基本的事項を学ぶ。</li> <li>・特別用途食品, 特定保健用食品, 栄養機能食品の特徴を理解できる。</li> <li>・食品の安全性確保のための具体的な手段を説明できる。</li> <li>・主な食中毒の特徴を理解できる。</li> </ul>	田中 秀樹	B-1 健康の概念

					・飲食物からの疾病の予防法を理解できる。		
6		6.16	4	5. 地域保健と保健行政 1)地域保健行政体系 (教1) p.322 6. 公衆衛生活動 1)母子保健 (教1) p.322	・国民全体の保健対策について国・都道府県・市町村におけるそれぞれの役割を理解できる。 ・母親と乳幼児を一体として考える母子保健の現状について学ぶと共に、母子保健対策における母子保健法の在り方を理解できる。	田中 秀樹	A-7-1)地域医療への貢献
7		6.23	4	6. 公衆衛生活動 2)学校保健 (教1) p.352	・学校保健の主な対象者である小児の健康状態を知り、保健管理と学校教育に関する制度について、学校保健安全法を中心に理解できる。	本橋 正史	A-7-1)地域医療への貢献
8		6.30	4	6. 公衆衛生活動 3)産業保健 (教1) p.363	・職域保健についての意義・目的を理解し、産業従事者の健康問題を知り、労働災害、作業関連疾患の予防と健康増進のための制度について労働安全衛生法を中心に理解できる。	田中 秀樹	A-7-1)地域医療への貢献
9		7.7	4	6. 公衆衛生活動 4)成人・高齢者保健 5)障害者保健 (教1) p.376 6)国際協力 (教1) p.403	・高齢社会を迎え、今後の地域保健管理で重要視される成人・高齢者保健の現状を把握し、老人・高齢者の保健、福祉、介護に関する制度について、法律を中心に理解できる。 ・世界の保健医療の状況を知り、保健・医療援助に関連する国際協力の現状を説明できる。	本橋 正史	A-7-1)地域医療への貢献
10		7.14	4	6. 公衆衛生活動 6)精神保健 (1)精神保健とは (2)発育段階別の精神保健 (3)精神保健医療福祉制度 (4)社会生活と心の健康 (教1) p.390	・精神および行動の障害について各発育段階別に理解できる。 ・我が国の精神保健医療福祉制度を知り、心の健康の保持・増進のための対策について理解するとともに、その取り組みと現状を説明できる。	皆川 なほ子	A-7-1)地域医療への貢献

11		7.21	4	7. 環境と健康 1) 環境と適応 2) 地球環境の変化と健康への影響 3) 環境汚染の発生原因と現状  (教1) pp. 456-457, 460-461	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温暖化, 酸性雨, 砂漠化, オゾン層破壊等の地球環境の変化がヒトの健康に及ぼす影響を学び、要点を列挙できる。</li> <li>・環境衛生学的な認識を基に環境保健対策を理解し、説明できる。</li> <li>・公害の歴史・現状を理解すると共に環境保全対策について学び、説明できる。</li> </ul>	皆川 なほ子	B-2-4) 環境と健康
12		7.28	4	7. 環境と健康 3) 感染予防の実際 4) 住居(含照明)と健康 5) 騒音と健康 6) 振動と健康 (教1) pp.460-466, pp.318 - 320	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準的予防策の基本概念を説明できる。</li> <li>・照明や騒音, 振動と健康との関係について理解を深め、説明できる。</li> </ul>	皆川 なほ子	B-2-4) 環境と健康
13		8.4	4	7. 環境と健康 7) 空気と健康 8) 温熱環境と健康 9) 廃棄物処理 (教1) pp.460-466, pp.318 - 320, pp.460-466	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空気成分や温熱環境と健康の関係について理解を深め、説明できる。</li> <li>・日常生活や事業活動によって出される廃棄物の処理について制度と方法を理解し、要点を列挙できる。</li> <li>・医療施設から排出される廃棄物の種類と法律について説明できる。</li> <li>・感染性廃棄物の取り扱いについて説明できる。</li> </ul>	中井 久美子	B-2-4) 環境と健康
14		8.11	4	7. 環境と健康 10) 禁煙支援 (教1) pp. 298-300 ※土曜日(5月9日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙による健康障害の具体例を学び、要点を列挙できる。</li> <li>・喫煙問題解決における医療従事者の役割を学び、説明できる。</li> <li>・禁煙指導・支援について学び、要点を列挙できる。</li> </ul>	田中 秀樹	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
15		8.18	4	平常試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回から第15回までの公衆衛生の範囲について、試験により知識の修得度を確認する。</li> </ul>	田中 秀樹 中井 久美子	B-1 健康の概念

					<ul style="list-style-type: none"><li>・振り返りシートの記入と、解説によりフィードバックを行う。</li></ul>		
--	--	--	--	--	-------------------------------------------------------------------------------	--	--

